

2024 年度



環境経営レポート

対象期間

(2023 年 8 月～2024 年 7 月)



株式会社 サンデン

発行日 2024 年 10 月 28 日

環境経営方針

* 基本理念 *

株式会社サンデンは、電気工事及び土木・建築・管・消防・水道・舗装・鋼構造物工事の設計施工に付帯する業務を通じて、経営における課題とチャンス定期的に明確化し、自然環境への負荷を出来る限り少なくなる様、環境経営に取り組みます。

* 行動指針 *

1. 品質方針

当社は顧客の満足する製品及び施工を常に信頼される品質で提供し継続的に改善をはかります

2. 環境経営方針

- ・ 二酸化炭素排出量削減（電気・ガソリン使用量の削減）（※1）
- ・ 水道の使用量の適正管理
- ・ コピー用紙の使用量の削減
- ・ 廃棄物の削減及び建設廃棄物のリサイクル推進（※1）
- ・ 当社が施工する工事及びサービスにおける配慮
 - 1) 顧客からのクレーム件数をゼロ件とする
 - 2) 工事現場における3S活動
- ・ 経営における課題とチャンスの推進

3. 環境関連法規等を遵守します。

4. 環境経営レポートを作成し、社内外に公表します。

5. 経営システム（QMS・EMS）の継続的改善を図ります。

6. 全従業員に周知する

※1は重点項目

制定日： 2009年 11月 20日

改定日： 2020年 8月 1日

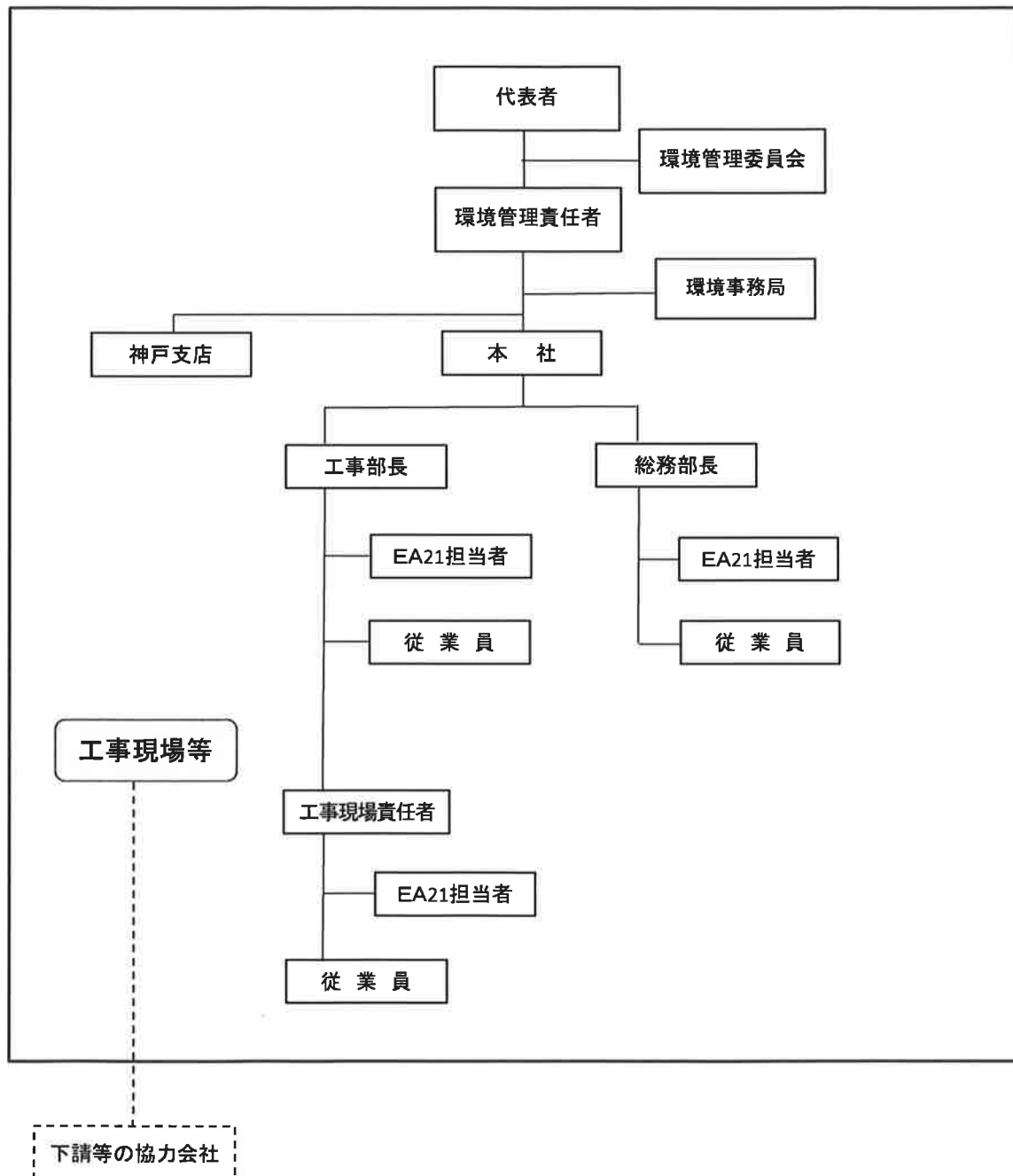
株式会社 サンデン

代表取締役 三好元旦

事業所の概要

- 1) 事業者名及び代表者名
株式会社 サンデン
代表取締役 三好 元旦
- 2) 所在地
本 社：〒675-0012
加古川市野口町野口 129-94
TEL079-425-1155 FAX079-425-6218
神戸支店：〒650-0022
神戸市中央区元町通 7-3-10
TEL078-945-8899 FAX078-945-8819
- 3) 環境保全関係の責任者及び連絡先
環境管理責任者 代表取締役 三好 元旦
担当者 環境事務局 松村 久美
TEL：079-425-1155
- 4) 事業内容
学校、ビル、工場の屋内及び屋外電気設備工事
同上の給水、排水、空調設備工事
同上の土木工事及び建築工事
- 5) 事業規模（2024 年度）
 - * 売上高 657（百万円）
 - * 従業員 8 人（代表者・役員を含む）
 - * 延床面積 284（m²）
 - * 工事用重機などは、必要都度「リース」なので、保有していない
 - * 当社が保有している車両は、自動車のみ
軽自動車 7 台・自動車 3 台
- 6) 認証・登録の対象組織・活動
登録組織名：株式会社サンデン
対象事業所：本社
神戸支店
活 動：電気工事及び土木・建築・管・消防・水道・舗装・
鋼構造物工事の設計施工

EA21実施体制



環境経営システム 役割・責任・権限表

	役 割 ・ 責 任 ・ 権 限
社長 環境管理委員会 [環境管理責任者 兼任]	・環境経営に関する統括責任。 ・経営における課題とチャンスの明確化 ・環境経営システムの実施に必要な。人、設備、費用、時間、技能、技術者を準備。 ・環境管理責任者を兼任。 ・環境経営方針の策定・見直し及び全従業員へ周知 ・環境経営システムの構築、実施、管理。 ・環境関連法規等の最新版の管理及び取りまとめ票を承認。 ・環境経営目標・環境経営計画書を確認及び承認。 ・代表者による全体の評価と見直し・指示を実施。 ・環境経営レポートの確認及び承認。
環境事務局	・環境負荷の自己チェック及び環境への取り組みの自己チェックの実施。 ・環境経営目標、環境経営計画書原案の作成。 ・環境経営の実績集計・評価と社長(環境管理責任者)へ報告。 ・環境関連法規等取りまとめ表の作成と関連法規等の最新版管理。 ・環境関連法規等取りまとめ表に基づく遵守評価の実施。 ・環境経営レポートの作成、公開(事務所に備付けと地域事務局への送付) ・環境関連の外部コミュニケーションの窓口。
EA21担当者	・自部門における環境経営システムの実施。 ・自部門における環境経営方針の周知。 ・自部門の従業員に対する教育訓練の実施。 ・自部門に関連する環境経営計画の実施及び達成状況の報告。(環境事務局へ) ・特定された項目の手順書作成及び運用管理。 ・自部門の特定された緊急事態への対応のための手順書作成。 ・自部門の問題点の発見、是正、予防処置の実施。
全従業員	・環境経営方針の理解と環境への取り組みの重要性を自覚。 ・決められたことを守り、自主的・積極的に環境経営へ参加。

* 主な環境負荷の実績

項目	単位	2022年度 (2021.8～2022.7)	2023年度 (2022.8～2023.7)	2024年度 (2023.8～2024.7)
二酸化炭素排出量(合計)	kg-CO ₂	28,608	27,594	26,731
購入電力 (二酸化炭素排出量) ※1	"	10,172	9,852	9,583
ガソリン (二酸化炭素排出量)	"	18,436	17,742	17,148
電気使用量	kWh	24,336	23,571	22,927
ガソリン使用量	L	7,941	7,642	7,386
水使用量	m ³	70	70	70
コピー用紙使用量 ※2	枚	52,344	49,989	50,739
廃棄物の排出量	t	1.12	1.42	1.34

※1 関西電力2017年度の調整後排出係数(0.418kg-CO₂/kWh)を使用

※2 A4相当数

*環境経営目標及び実績

		2019～2021年度 平均	2022年度 (2021.8～2022.7)	2023年度 (2022.8～2023.7)	2024年度 (2023.8～2024.7)		評価
		基準値	目標	目標	目標	実績 (達成率)	
二酸化炭素排出量 (電力+ガソリン)	kg-CO ₂	29,701	29,665 (-0.1%)	29,633 (-0.2%)	29,598 (-0.3%)	26,731 (111%)	○
二酸化炭素排出量 (電力)	kg-CO ₂	10,199	10,186 (-0.1%)	10,178 (-0.2%)	10,166 (-0.3%)	9,583 (106%)	○
二酸化炭素排出量 (ガソリン)	kg-CO ₂	19,502	19,479 (-0.1%)	19,455 (-0.2%)	19,432 (-0.3%)	17,148 (113%)	○
電気使用量の削減	kWh	24,400	24,370 (-0.1%)	24,350 (-0.2%)	24,320 (-0.3%)	22,927 (106%)	○
ガソリン消費量の削減	L	8,400	8,390 (-0.1%)	8,380 (-0.2%)	8,370 (-0.3%)	7,386 (113%)	○
水使用量の削減	m ³	70	70 (100%)	70 (100%)	70 (100%)	70 (100%)	○
コピー用紙使用量 の削減	枚	51,100	51,040 (-0.1%)	50,990 (-0.2%)	50,940 (-0.3%)	50,739 (100%)	○
廃棄物の削減及び建設 廃棄物のリサイクル推進	—	100%	100%	100%	100%	排出量1.34t 再資源量1.34t (100%)	○
工事及びサービス における環境配慮 (工事現場における 3S活動)	評価	2以上	2以上	2以上	2以上	3	○
経営における課題と チャンスの明確化とそ の推進(クレーム・コンプ レインをゼロにする)	—	—	0件	0件	0件	0件	○

* 「目標」は基準値に対するの削減率、「実績(達成率)」は目標値に対する実績と達成率を示す

* 評価 ○＝目標達成(100%以上) △＝未達成(90%以上100%未満) ×＝未達成(90%未満)

* 当社では、化学物質を使用していないので、環境経営目標に設定していません。

* (評価) 1.改善の余地あり 2.出来ている 3.よく出来ている

* 2025年度以降の目標値は、過去3年間の平均値を基準値として再設定を予定している為、現在準備中です。

*2024年度 環境経営の取り組み結果と評価、次年度の取り組み内容

取り組み計画	達成状況	取り組み結果と次年度の取り組み内容
二酸化炭素排出量 (電気+ガソリン)	目 標:29,598(kg-CO2) 実 績:26,731(kg-CO2) 達成率:111% 達成状況: ○	今年度は特にガソリン消費量が近郊の現場だったので減少しました。次年度からも引き続き意識していくとともに、電気使用量の削減にも努めていきます。
電気使用量の削減 ・空調の温度を冷房は28度 暖房は20度を目標にする ・休憩時間は、消灯する ・照明場所の適正化	目 標:24,320(kWh) 実 績:22,927(kWh) 達成率:106% 達成状況: ○	換気のために窓を開ける機会はいままでの、使用量が高くなる月もありました。設定温度を適温に保ち、不在時にはこまめに消灯を行う等を心掛けました。 次年度も、こうした工夫を継続していきます。
ガソリン消費量の削減 ・アイドリングストップ ・急発進急加速をしない ・空調を適温にする ・空気圧の管理・オイル交換等 車両管理をする	目 標:8,370(L) 実 績:7,386(L) 達成率:113% 達成状況: ○	年間を通して近郊の現場が多かった為、ガソリン消費量は減りました。燃費管理も継続しています。次年度も、燃費向上に向けて車両の燃費管理に努め、無駄の無い移動を心がけていきます。
水使用量の削減 ・蛇口をこまめに締める ・バケツ等利用する	目 標:70(m³) 実 績:70(m³) 達成率:100% 達成状況: ○	水道水を使用する際は、水を出し放しにしないよう心掛けました。 次年度も、節水に心掛けていきます。
コピー用紙使用量の削減 ・データ化保存等ペーパーレス に努める ・使用済の用紙の再利用	目 標:50,940(枚) 実 績:50,739(枚) 達成率:100% 達成状況: ○	いまだに役所関係への提出書類は紙の場合が多く、竣工工事が増えるとともに用紙使用量も増えてしまいました。次年度は、少しでも削減出来る様に、役所等の担当者に交渉しデータ提出等のペーパーレス化を目指します。
廃棄物の削減及び 建設廃棄物のリサイクル推進 ・電気工事及び土木建設に伴う 廃棄物の分別	目 標:100% 実 績:100% 達成率:100% 達成状況: ○	排出量1.34t 再資源量1.34t 分別出来ていました。 次年度も、手間を惜しまないで継続していきます。
工事及びサービスにおける 環境配慮 ・工事現場における3S活動 (整理・整頓・清掃)の推進 (評価)1改善の余地あり 2出来て いる 3よく出来ている	目 標:2以上 実 績:3 達成率:100% 達成状況: ○	清掃等出来ていました。 次年度も工事現場は綺麗にする様心掛けていきます。なお、次年度も目標設定をして取り組みます。
経営における課題とチャンスの 明確化とその推進 ・クレーム・コンプレインをゼロ件にする 工事現場の近隣住民の方への 配慮や出来上がり品質に対して チェックする	目 標:0件 実 績:0件 達成率:100% 達成状況: ○	配慮等出来ていまいした。 クレーム・コンプレインは0件で、次年度も継続していきます。

* 達成状況 ○=目標達成 △=未達成(10%以内) ×=未達成(10%超)

代表者による経営システムの評価と見直し・指示

見直しのための情報	確認・指示内容/変更の必要性
[方針・目標、達成状況] ガソリン消費量は、工事現場が近郊であった為、目標達成できた月が多かったです。電気使用量は、夏は猛暑・冬は寒冷であったため、目標達成できない月が多かったです。コピー用紙使用量は、工事の竣工時期が重なったために、増えている月がありました。	[環境方針・環境目標に対するコメント] ガソリン消費量を今後も増やさぬように、無駄な移動を減らすこと。 電気使用量は、夏場冬場の節電の意識を高めること。 コピー用紙使用量は、提出書類作成の際に、印刷し直し等の無駄がないように努めること。 [変更の必要性] 有 ☒ 無
[環境活動計画の取組み状況] 社員が個々に意識し、取組が定着し出しました。	[環境活動計画に対するコメント] 年々、社員個々の環境意識が定着してきていると思われる。 今後も、環境配慮に努めること。 [変更の必要性] 有 ☒ 無
[実施体制の状況] EA21 実施体制に基づいて行われていました。	[実施体制に対するコメント] 今後も、今まで通りに継続する。
[法律等の改定、順守状況] (2024.4.1)道路運送車両法と、自動車リサイクル法が改正されていました。運用期間中の順守状況は、違反はありませんでした。	[順守状況の確認に対するコメント] 今後も、今まで通りに継続する。
[外部からの苦情の有無] 無し	[苦情への対応に対するコメント] 今後も、適切に運用する。
[環境経営システムの実施状況] 特に問題もなく、適切に実施しています。この調子で、続けて行きたいです。	[環境経営システムに対するコメント] 現在の取組みを継続していく。 [変更の必要性] 有 ☒ 無
[報告年月日] 2024 年 10 月 11 日	[見直し年月日] 2024 年 10 月 11 日
[環境管事務局] 氏名: 松村 久美	[代表者] 氏名: 代表取締役 三好元旦

*** 環境関連法規制等の順守状況の確認
及び評価の結果並びに違反、訴訟等の有無**

法的義務を受ける主な環境関連法規制は次の通りです。

法規制等の名称	順守すべき要求事項	順守状況
廃棄物処理法	マニフェスト交付確認及び状況報告書の提出	○
建設リサイクル法	解体及び新築工事における届出	○
道路運送車両法	事業用自動車の整備点検	○
フロン排出抑制法	業務用機器の事前確認及び発注者への書面説明 室外機の3ヶ月ごとの簡易点検・記録	○
自動車リサイクル法	資金管理法人へ所有自動車の預託金	○
消防法	消火器の設置	○

* 順守状況 ○＝順守 ×＝違反あり

順守状況確認日：2024年8月1日

環境関連法規制等の順守状況を確認した結果、違反はありませんでした。
又、関連当局よりの違反等の指摘及び訴訟は、過去3年間ありませんでした。

*** 廃棄物の分別状況写真**



*** 電気工事の写真**



*** 信号機工事の写真**



*** 次年度は、2025年10月発行予定**